

総務常任委員会

南相馬市企業立地促進区域及び避難解除区域等における市税の特例に関する条例制定について

質疑 課税免除対象となる企業の把握は。

答弁 現時点では把握していない。

質疑 制度周知の方法は。

答弁 経済部企業担当との連携により、具体的に相談を受けた際にも周知できるように積極的に展開する。

審査の結果、原案の通り可決。

平成25年度南相馬市一般会計補正予算（第4号）について

質疑 行政運営上、地方交付税措置は命綱である。将来の見通しについて伺う。

答弁 25年度本市の普通交付税は、対前年度比1.3%増。ただし、全国市町村ベースでは1.3%減。県内市町村分でも4.5%減。平成26年度国の概算要求では、出口ベースで1.8%減の速報が出ている。今後は、算定方法の関係で、平成28年度から普通交付税の減額により、財政運営上、厳しい状況

が想定される。

質疑 妊婦健康診査支援基金事業補助金は、当初予算に見込めなかったのか。

答弁 妊婦健診は必要回数14回程度で、平成24年度までは、14回のうち9回分が県の基金から2分の1の補助、残り2分の1は普通交付税措置。14回のうち、残り5回分は普通交付税措置。平成25年度からは、必要回数14回全てが普通交付税措置になり、今回の補助金は、平成24年度に受診された平成25年3月分などの9回分で、6月26日に交付決定された分であり、当初予算では見込めなかった。

質疑 財政調整基金繰入金を減額補正してゼロにする理由について伺う。

答弁 市税の当初課税に伴い約4億円の増、普通交付税の本算定により約7億円の増、繰越金確定に伴い約15億円の増と、新たに財源が見込めるためである。

電気自動車充電施設

道の駅に設置

質疑 次世代自動車充電インフラ整備促進事業で、道の駅が整備第一候補となった理由について伺う。

答弁 福島県が、福島県次世代自動車充電インフラ整備ビジョンの中で、インフラ整備の適地を、基本的な基盤整備、目的地充電箇所、経路充電箇所と設置地点を示しており、本市は経路充電箇所として、交通量が多く、災害時に避難所の役割を果たす「道の駅南相馬」を選定した。

質疑 除去土壌等仮置場設置管理事業で、仮置き場周辺の米づくりや販売に対する風評被害への対策は。

答弁 風評被害が払拭できず仮置き場の安全管理をしっかりしていきたい。

質疑 消防団活性化対策事業で、総合的な消防団の活性化、人材確保をどうするのか。

答弁 震災により、1千250名ほどの団員のうち、約440名が市外に避難している。再編等も視野に入れ、まず団員の意向調査など今年度実施予定である。



建設予定の仮庁舎（イメージ）

仮庁舎建設へ

質疑 仮庁舎整備事業で、県道からモータープールへの進入に危険性を感じるが。

答弁 市民が安全で、容易にアクセスしやすい駐車場の確保も重要な要因であり、整備予定地の隣接地の取得に向けた対応を今後進めたい。

討論

仮庁舎整備事業の提案場所がモータープールであり、現況、県道からのみの出入口では、市民等の往来が新たに生じることで、交通環境と交通事情における安全面に懸念がある。東側隣接地取得など、新たな進入路の確保により、市民等の安全対策に努めるべきとの意見を付して賛成。

審査の結果、原案の通り可決。

平成25年度南相馬市一般会計補正予算（第5号）について

質疑 帰還住民放射能対策機器点検校正事業で、今後毎年校正していくのか。

答弁 本事業は、放射線に対する不安を解消し、住民の帰還を促すことが目的であるため、何年も継続するものではなく緊急的な措置である。

質疑 既に校正に出された方に対する周知と今後の対応について伺う。

答弁 既に校正に出された方が、8月26日現在で10人いる。市の予算で対応する。

質疑 機器を回収して、市民に返す手順について伺う。

答弁 市民から加入事業組合に持ち込んでいただく。市外に避難されている方は、郵便で受付する。組合から工場へ送付し、約一ヶ月で工場から組合へ連絡し、引き取っていただく。

審査の結果、原案の通り可決。



文教福祉常任委員会

平成25年度南相馬市国民健康保険特別会計補正予算について

質 疑 市内には、原発30kmラインの内外で国保税や一部負担金の取り扱いに差があり、不公平感がいまだに根強い。住民感情をどのように考えての内容か何う。

答 弁 住民感情は充分に理解するが、今後の医療費の推移が不透明である。次年度以降も国保税率の引上げ緩和などに、相当の財源が必要となってくる。と判断し、基金積立とする。審査の結果、原案の通り可決。

平成25年度南相馬市介護保険特別会計補正予算について

質 疑 介護士不足について、本市でも独自でスタッフ不足解消のための事業に取り組んでいるところだが、市の独自施策として、報酬へ上乘せできるような施策はできないのか何う。

答 弁 市独自では難しいが、介護保険制度では、平成24年度から26年度までの期間限定で、職員の賃金増額等の処遇改善を行う事業者に対し

て、介護報酬を加算する制度がある。職員不足状況を見れば、加算率の上積みと制度の延長を要望していく。審査の結果、原案の通り可決。

平成25年度南相馬市病院事業会計補正予算について

質 疑 脳卒中センターの開院と総合病院が臨床研修指定病院となったことに伴って、平成27年度中に電子カルテを導入すべく、調査の為の委託費だが、電子カルテ導入の経過について何う。

答 弁 脳卒中センターが開院する前に電子カルテを導入し、別棟になる脳卒中センターとの連携をスムーズにする。さらに医療業界で標準化されている電子カルテを導入することで、臨床研修医の教育環境の改善を図るためである。

質 疑 小高病院の再開について、どのような検討を経て再開が決定されたのか何う。

答 弁 再開については、小高区地域医療復興計画策定委員会において、まずは公的な

病院から再開すべきとの事であった。審査の結果、原案の通り可決。

質 疑 入札結果によると、入札が2社だけとなっているが、その理由について何う。

答 弁 制限付き一般競争入札で執行した。地元業者であるという地域要件、施工能力や工事品質を確保するため、経営事項審査点数を要件としていたが、結果として応募が2社であった。審査の結果、原案の通り可決。

平成25年度南相馬市一般会計補正予算（第4号）について

質 疑 共同墓地災害復旧事業補助金について、墓地管理者に対する事前の周知方法と、これから申し込みがある場合にはどのようなものか何う。

答 弁 多くの場合、行政区長が管理者となっているが、個別に文書で案内を出している。今後の申し込みがあった際には、申請内容を精査のうえ対応していきたい。

質 疑 かしま保育園太陽光発電設備事業について、太陽光発電を利用した楽器等の設置だが、どのようなものか何う。

か何う。

答 弁 太陽光発電を利用して、押すと、光と音を鳴らす楽器である。年齢によって分けて演奏できるように、大小の3種類を予定している。

質 疑 真野小学校閉校記念事業補助金について、記念誌の発行について、1千部を作成することだが、どのような見込みで1千部としたのか。十分に足りると考えているのか何う。

答 弁 真野地区のほぼ全世帯の600部、さらに県教育委員会等の関係機関を想定しており、余裕を持たせて1千部である。



津波被害を受けた真野小学校

質 疑 閉校記念事業に関連して、跡地利用についてどのような検討がされているか何う。

答 弁 現在は鹿島区の地域振興課が中心となって、鹿島区

全体の復興に向けた地域ビジョンの策定作業を進めている。

質 疑 屋内プール利用者促進事業について、オープンしてから8月末までで、利用者数は延べ1万7千人を超えている。安全に使える環境を整えていくために今後も維持費が発生する。今回の補正予算で、どの程度までの修繕が完了する見込みか何う。

答 弁 現在把握している範囲の修繕は完了する。今後とも各種定期点検を行いながら、管理していく。

質 疑 日中一時支援事業について、需要と供給の状況はどうなっているのか。希望通りの利用はできる状況なのか何う。

答 弁 おおむね希望通りの利用ができています。ただ、特に人数の多い日には、利用人数の調整をしている。

質 疑 保育士等処遇改善臨時特別事業補助金について、本市における保育士の充足状況について何う。

答 弁 保育園児・幼稚園児は震災前と比べて4割ほどが戻ってきている状況である。職員の退職もあったが、嘱託職員、パート職員を含め対応している。審査の結果、原案の通り可決。